

# I 令和2年度事業報告

## 新宿区社会福祉協議会第4次経営計画2019～2023 施策と各事業

<b>施策1 支えあい活動に参加するきっかけづくり</b> . . . . .	<b>5</b>
1. 福祉教育・福祉体験学習の推進 . . . . .	5
2. いつでも体験ボランティア . . . . .	5
3. 介護支援等ボランティア・ポイント事業【区委託】 . . . . .	5
4. 視覚・聴覚障害者支援事業【区委託】 . . . . .	6
<b>施策2 活動者の段階的な学びと活動継続への支援</b> . . . . .	<b>7</b>
1. 生活支援体制整備事業【区委託】 . . . . .	7
2. 地域活動者実践講座 . . . . .	10
3. 認知症高齢者等支援ボランティア養成講座事業【区委託】 . . . . .	10
4. ふれあい・いきいきサロンの運営支援 . . . . .	10
5. 成年後見センター事業【重点事業】 . . . . .	11
6. 地域ささえあい活動助成金 . . . . .	12
<b>施策3 多様な生活課題を受け止める相談体制の充実と包括的な支援</b> . . . . .	<b>15</b>
1. 暮らしの総合相談事業【重点事業】 . . . . .	15
(1)暮らしの総合相談 . . . . .	15
(2)車椅子・地域行事用機材の貸出 . . . . .	16
2. 自立相談支援・貸付事業【重点事業】 . . . . .	17
(1)総合相談件数 . . . . .	17
(2)自立相談支援事業【区委託】 . . . . .	18
(3)生活福祉資金貸付事業【東社協委託】 . . . . .	18
(4)受験生チャレンジ支援貸付事業【区委託】 . . . . .	19
(5)ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業【東社協委託】 . . . . .	19
(6)応急小口資金貸付事業 . . . . .	19
(7)緊急援護事業 . . . . .	19
(8)新型コロナウイルス感染症に係る生活福祉資金特例貸付 . . . . .	19
3. 成年後見センター事業【重点事業】 . . . . .	20
(1)成年後見制度利用推進事業【区委託】 . . . . .	20
(2)法人後見事業 . . . . .	22
(3)地域福祉権利擁護事業【東社協委託】 . . . . .	23
4. 避難者支援 . . . . .	24
<b>施策4 住民同士の支えあいによる心豊かな暮らしの実現</b> . . . . .	<b>24</b>
1. ちょこっと・暮らしのサポート事業 . . . . .	25
2. 地域見守り協力員事業【区委託】 . . . . .	26
3. ファミリーサポート事業【区委託】 . . . . .	26

<b>施策5</b>	<b>さまざまな団体との連携による地域ネットワークの発展</b>	<b>28</b>
1.	地域団体との連携【重点事業】	28
	(1)社会福祉法人としての公益的な取り組みの推進	28
	(2)民生・児童委員協議会との連携	28
	(3)町会・自治会等地域団体との連携	29
	(4)出前講座の実施	29
	(5)NPO・新宿CSRネットワーク等との市民活動の支援	29
2.	生活支援体制整備事業（再掲）【区委託】	30
<b>施策6</b>	<b>新宿社協の活動の理解促進のための広報・広聴機能の強化</b>	<b>30</b>
1.	総合的な広報事業【重点事業】	30
	(1)ボランティア情報の発信	30
	(2)広報紙「けやき」等の発行	31
	(3)ホームページ、SNSの運用	31
2.	広聴事業【重点事業】	31
	(1)情報公開・個人情報保護	31
	(2)第三者委員会の設置	32
	(3)広聴事務手順書の作成	32
<b>施策7</b>	<b>地域福祉推進のための財源基盤の拡充</b>	<b>32</b>
1.	会費会員の拡充【重点事業】	32
2.	共同募金の普及・啓発（募金文化の醸成）【重点事業】	32
	(1)共同募金会新宿地区協力会理事会	32
	(2)赤い羽根共同募金	32
	(3)歳末・地域たすけあい運動募金	33
3.	寄附の募集【重点事業】	33
4.	収益事業（自販機の設置等）【重点事業】	34
<b>施策8</b>	<b>新宿社協の組織運営と組織基盤の整備</b>	<b>34</b>
1.	新宿社協の組織運営	34
	(1)理事会・評議員会・推進部会の運営	34
	(2)社協部会の運営	36
2.	職員の育成	37
3.	IT推進・情報管理	37
4.	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策	38
<b>施策9</b>	<b>災害対策の推進</b>	<b>38</b>
1.	災害時危機管理対策	38
2.	災害ボランティアセンターの運営支援等	39

# 1 支えあい活動に参加するきっかけづくり

## 1 福祉教育・福祉体験学習の推進

種 別	対 象	内 容	延参加者数			
			令和2年度		令和元年度	
福祉教育の支援	幼稚園・子ども園 小学校・中学校 高等学校	各学校が行う福祉体験学習等への企画協力や講師紹介を行う。 地域の障害者や高齢者等との交流を通して、地域の身近な課題や生活者の多様性を感じ、考える機会を支援する。	東地区	160 人	東地区	377 人
			中央地区	183 人	中央地区	502 人
			西地区	306 人	西地区	355 人
			計	649 人	計	1,234 人
			計	649 人	計	1,234 人
授業協力	大学 専門学校		東地区	17 人	東地区	11 人
			中央地区	102 人	中央地区	24 人
			西地区	70 人	西地区	166 人
			計	189 人	計	201 人
			計	189 人	計	201 人
企業等への支援	企業 地域団体	企業・団体が開催する、福祉やボランティア、多様性理解等の学びの場への協力	東地区	0 人	東地区	0 人
			中央地区	0 人	中央地区	0 人
			西地区	0 人	西地区	54 人
			計	0 人	計	54 人
			計	0 人	計	54 人
職場体験学習受入	中学校	区立中学校が実施する「職場体験学習」における、生徒の受け入れを協力(中止)	東地区	0 校 0 人	東地区	1 校 2 人
			中央地区	0 校 0 人	中央地区	2 校 4 人
			西地区	0 校 0 人	西地区	1 校 2 人
			計	0 人	計	8 人
			計	0 人	計	8 人
情報交換会	福祉教育協力者 教育委員会	「新しい生活様式に合わせた福祉教育・体験学習の実施について考える」(オンライン情報交換会)	実施日	10月21日	実施日	7月25日
			場所	社会福祉協議会 (WEB併用)	場所	区立四谷小学校
			参加者数	WEB17人 来所4人(協力団体/教育委員会)	参加者数	67 人
			参加者数	WEB17人 来所4人(協力団体/教育委員会)	参加者数	67 人

## 2 いつでも体験ボランティア

内 容	延参加者数	
	令和2年度	令和元年度
<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のために、施設のボランティア受け入れや各種イベントが中止となり、これまでの体験ボランティアを実施することができなかった。そのため、非接触型ボランティア活動として「おたよりボランティア」「介護用食事エプロン作り」「切手整理」を6月発行の地区情報紙いつでも体験ボランティア特集号およびホームページで提案して参加者を募った。届いたおたよりは489通。</p> <p>5月11日からホームページに掲載し、3月末日までに37回の更新、見守り利用者向けの紙面でのおたよりの発行は18回となった。</p> <p>ボランティアコーナーを中心に、特別出張所や地域センターで「おたよりボランティア」の作品を展示した。</p>	286 人	308 人

## 3 介護支援等ボランティア・ポイント事業(区委託事業)

### (1) 登録者数

	令和2年度	令和元年度
参加登録者数	1,195 人	1,172 人
(うち重複者数)	( 313 人 )	( 288 人 )
内訳:施設での活動者	550 人	575 人
地域見守り協力員	326 人	317 人
ちよこっと・暮らしのサポート事業協力員	225 人	186 人
家族会の活動者	26 人	26 人
認知症介護者家族会の活動者	24 人	24 人
地域安心カフェの活動者	44 人	44 人

## (2) 施設でのボランティア活動

	令和2年度	令和元年度
参加登録講習会の開催	1 回	4 回
研修・交流会の開催	1 回	1 回
受入施設数	77 カ所	77 カ所
受入施設での実活動者 ※	118 人	2,795 人

※1年間の実活動者延べ人数

## (3) 施設・団体ボランティア受入学習会

目 的	施設・団体のボランティア受入担当者を対象に、ボランティアコーディネーターとしての学習の機会と、分野を超えた情報交換及び地域との協働への視点を養う。
第 1 回	「施設・団体の皆様のためのボランティアコーディネートガイドブック」の送付 内 容 ボランティアコーディネートの基本、ボランティアセンターの業務、活動事例紹介 送付先施設数 136施設(うち介護支援等ボランティア・ポイント施設 74施設)
第 2 回	開催日 令和3年2月19日 場 所 WEB/社会福祉協議会 内 容 「ボランティアのための傾聴講座」 ～ボランティアに活かすコミュニケーションの基礎能力と基本姿勢～ 講義と施設・団体受け入れ担当者連絡会の開催 参加者数 施設・団体職員 14人(13施設・団体)、ボランティア30人 ※介護支援等ボランティア・ポイント事業活動者向け研修と合同開催

## (4) 施設・団体ボランティアコーディネート事業

## ①登録数

	令和2年度	令和元年度
利用団体数	196 団体	191 団体
活動団体数	121 団体	112 団体
活動者数	1,522 人	1,526 人
延活動回数	873 回	8,485 回

## 4 視覚・聴覚障害者支援事業(区委託事業)

## (1) 利用者数

	令和2年度	令和元年度
視覚障害者交流コーナー	延 1,534 人	延 3,886 人
聴覚障害者交流コーナー	延 533 人	延 880 人

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言期間及び区のコロナ警戒期間等に伴い、夜間の利用を休止。

・4月1日～7月14日の間は、17時～21時

・1月6日～3月31日の間は、20時～21時

## (2) サービス利用件数

	令和2年度	令和元年度
代読・代筆サービス	延 81 件	延 93 件

## (3) 講座の開催支援

講 座 名	回数等	内 容	参加者数
「ミニ朗読会」	1回(8/5)	心和む短編小説の朗読会の実施	7 人

## (4) 普及啓発

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、聴覚障害者及び支援者が使用する「手作りフェイスシールド」の作成協力を地区情報紙及びホームページで提案したところ、316枚の寄贈があった。

## 2 活動者の段階的な学びと活動継続への支援

### 1 生活支援体制整備事業（区委託事業）

生活支援コーディネーターを配置し、住民主体の訪問型・通所型サービス創出、生活支援の担い手養成、高齢者等が担い手として活動する場の推進等、地域全体で高齢者を支えるためのしくみづくりを行う。

#### (1) 生活支援体制整備協議会の運営

多様なサービス提供主体等が参画する定期的な情報の共有・連携強化の場とすることが目的の協議会について、区と連携し、運営した。

回	開催日時	行事名	内容	出席委員
1	7月28日	第1回生活支援体制整備協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度の事業実施報告</li> <li>新宿区高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画の策定に向けて</li> <li>生活支援体制整備事業の推進に向けて</li> </ul>	17人
2	2月22日	第2回生活支援体制整備協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>会長・副会長の選任結果について</li> <li>「新たな日常」の中での「地域支え合い活動」についての協議</li> <li>令和2年度事業実施報告</li> <li>第1層生活支援コーディネーター報告</li> </ul>	17人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため書面開催

#### (2) 調整部会との連携

地域課題の整理や生活支援体制整備協議会に向けた議題の整理を行うための調整部会（高齢者総合相談センター主催）に参加し連携した。

開催日時	圏域	内容
11月6日 10時～12時	調整部会事前打合せ	区及び取りまとめ高齢者総合相談センター職員とともに、令和2年調整部会の方向性及び議題に関する調整を行なった。
12月9日 15時30分～17時	西圏域打合せ (落合第一・落合第二・柏木・角筈)	<ul style="list-style-type: none"> <li>調整部会へ向けた内容の確認</li> <li>各地区での取り組みの共有</li> </ul>
12月18日 10時～12時	東圏域打合せ (四谷・笹筈町・榎町)	
1月18日 10時～11時30分	東 (四谷・笹筈町・榎町)	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度の活動報告</li> <li>生活支援体制整備協議会へ向けて圏域としてのまとめ</li> </ul>
1月18日 13時30分～15時	中央 (若松町・大久保・戸塚)	
1月29日 14時30分～16時	西 (落合第一・落合第二・柏木・角筈)	

#### (3) 普及啓発講座・情報交換会

効果的な事業展開を図るため、支え合いのしくみづくりに関する講座や情報交換会等を開催した。

##### ① 社協他事業講座内での普及啓発

開催日時	場所	内容	参加者
11月13日 14時40分～ 15時40分	認知症高齢者等支援ボランティア養成講座・ 社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンライン体験ボランティアの振り返り</li> <li>地域包括ケアシステムについて</li> <li>認知症施策推進大綱について</li> <li>地域全体で高齢者を支えるとは</li> </ul>	17人

②普及啓発講座

開催日時	場 所	内 容	参 加 者
8月20日 10時30分～12時	社会福祉協議会 (WEB併用)	新しい生活様式に合わせた通いの場の実践について 講師: 東京都健康長寿医療センター 研究部長 藤原佳典氏	38人 (30団体)
11月30日 10時～12時	WEB	支援の隙間に埋もれるニーズに気づき、つなげる地域になるには 講師: 淑徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科 准教授 山下興一郎氏	74人
12月10日 13時30分～15時	社会福祉協議会 (WEB併用)	新しい生活様式の中で高齢者を地域全体で支えるために自分たちができていることを考える 講師: 武蔵野大学人間科学部社会福祉学科 教授 熊田 博喜氏	52人 (WEB42人 来所10人)
1月15日 10時～12時	社会福祉協議会 (WEB併用)	新しい生活様式の中で、通いの場等の活動団体・活動者のつながりについて 講師: 東洋大学 ライフデザイン学部 生活支援学科 教授 山本 美香氏 事例提供者: 箆笥未来倶楽部 介護予防の会・一二三 SHINJUKU BASE	38人 (WEB27人 来所11人)

③情報交換会等

新しい生活様式に合わせた活動について、住民主体の支えあい活動をしている団体及び活動者と意見交換を行った。

開催日時	場 所	内 容	参 加 者
7月31日 10時30分～12時	社会福祉協議会 (WEB併用)	住民主体の支えあい活動をしている団体及び活動者が、新しい生活様式に合わせた活動を検討するため、現状共有及び今後の活動を検討する機会となる情報交換	31人 (26団体) WEB25人 来所6人
9月17日 10時～12時	社会福祉協議会 (WEB併用)	高齢者総合相談センター9箇所に配置されている、生活支援体制整備事業第2層コーディネーターとの意見交換及び情報交換 ※社会福祉協議会職員を人数に含む	22人
11月20日 10時～11時30分	社会福祉協議会 (WEB併用)	区高齢者支援課と地域見守り協力員事業担当が連携し、見守り登録事業者、地域見守り協力員、ぬくもりだより訪問配布員、民生・児童委員、町会・自治会等と、新しい生活様式に合わせた見守り活動について意見交換を行った。 ※社会福祉協議会職員を人数に含む	66人 WEB47人 来所19人
1月15日 17時～18時30分	WEB	箆笥町・榎町地域ケアマネジャー自主学習会「専門職の殻を脱いで、地域住民の視点で考えてみよう～新宿区社会福祉協議会の職員との事例検討～」をテーマに、介護支援専門員と社協職員が事例検討を通して、専門職と地域住民が連携していくことについて意見交換を行った。	20人

講座受講生を対象に、オンラインサロンを開催し、参加者同士、意見交換を行った。

開催日時	場 所	内 容	参 加 者
11月12日 14時～16時	WEB	第1回オンラインサロン 担い手養成講座受講生対象	8人
12月1日 10時～12時	WEB	第2回オンラインサロン 見守り情報交換会受講生対象	10人
12月21日 13時～15時	WEB	第3回オンラインサロン 普及啓発講座(12/10)受講生対象	6人
1月27日 10時～12時	WEB	第4回オンラインサロン 普及啓発講座(1/15)受講生対象	10人

## (4) 担い手養成講座「生活支援ボランティア養成研修」の開催

目的	高齢者が地域で安心した生活を送るための地域支援体制を整備することを目的に、新たな日常の中でできる住民主体の支えあい活動として、声かけや見守りを理解し、活動できるボランティア養成研修を開催した。			
内容	回	開催日時	講座内容	講師
	1	10月29日 13時30分～ 15時30分	新型コロナウイルス感染症拡大の中、地域で生活する高齢者の現状新しい生活様式における、地域での声かけや見守り活動について～高齢者を支援する専門職から学ぶ声かけや見守りの視点～	戸塚高齢者総合相談センター 角永旨弘氏 指定居宅介護支援事業所 つつみ稲荷公園前 主任介護支援専門員 篠原吉紀氏 K-WORKER管理者 野津禎二氏
2	10月30日 10時～12時	新しい生活様式における、地域での声かけや見守り活動～地域の活動者が実践していること～ グループワーク	事例提供者 須賀町町会 町会長 田邊幸三氏 新聞販売所・民生児童委員今田済士氏 地域見守り協力員 松田智子氏	
受講者	1日目:55名(内、高齢者総合相談センター・第2層コーディネーター12名) 【内訳】WEB41名、来所14名 2日目:50名(内、高齢者総合相談センター・第2層コーディネーター13名) 【内訳】WEB41名、来所9名			
場所	社会福祉協議会(WEB併用)			

## (5) 支えあいの体制整備による取り組み

## ①相談実績

地 区	内 容							地区別合計	
	1 関係づくり	2 普及啓発	3 地域課題の 受け止め	4 ゆるやかな 見守り体制 づくり	5 支えあいの しぐみの立 上げ支援	6 支えあいの しぐみの運 営支援	7 福祉教育		
東	令和 2年度	88 件	2 件	13 件	0 件	4 件	14 件	2 件	123 件
	令和 元年度	60 件	6 件	8 件	6 件	6 件	6 件	10 件	102 件
中央	令和 2年度	99 件	1 件	10 件	0 件	10 件	9 件	2 件	131 件
	令和 元年度	86 件	11 件	8 件	4 件	3 件	18 件	12 件	142 件
西	令和 2年度	115 件	17 件	43 件	0 件	9 件	35 件	10 件	229 件
	令和 元年度	103 件	16 件	12 件	2 件	12 件	36 件	11 件	192 件
合 計	令和 2年度	302 件	20 件	66 件	0 件	23 件	58 件	14 件	483 件
	令和 元年度	249 件	33 件	28 件	12 件	21 件	60 件	33 件	436 件

## 2 地域活動者実践講座

目 的	地域の一人ひとりが抱える暮らしの課題について、住民主体の新たな支えあい活動によって改善・解決を目指すことのできる人材養成
内 容	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今年度の連続講座は中止し、公開講座のみの開催となった。

内 容	開催日	内容及び講師
	2月3日 10時30分～12時	公開講座「子育てで自分の魅力を再発見！ ～子どもと向き合うと見えてくる～」 講師：NPO法人 ファザーリング・ジャパン 理事 高祖 常子氏
受講者	24 人	※後日動画視聴者 9人
開催方法	WEB	

## 3 認知症高齢者等支援ボランティア養成講座

### (1) 養成講座

目 的	認知症高齢者等を対象とした地域ボランティアが、認知症に関する知識を習得することで、対応力を向上させるとともに、地域活動支援の充実を図り、住民同士の支えあいのまちづくりを推進することを目的とする。
内 容	令和2年11月5日～11月26日にかけて全3回の講座(講義及びオンラインでのボランティア体験実習)を実施した。 ・11月5日 医師による認知症の基本知識、在宅認知症高齢者の現状について ・11月13日 認知症家族介護者の体験談、認知症高齢者への支援方法について ・11月26日 区内高齢者施設とオンラインでつなぎ、体験ボランティア実習を実施
受講者	21 人
場 所	社会福祉協議会

### (2) ステップアップ講座

目 的	平成27年度～令和元年度認知症高齢者等支援ボランティア養成講座修了者を対象に、認知症高齢者等に関する対応力を向上させ、地域活動支援の充実を図り、住民同士の支えあいのまちづくりを推進することを目的として、実施した。
日 程	12月7日
内 容	「災害と認知症」をテーマに、「新型コロナウイルスと認知症」、「自然災害と認知症」について東京都認知症介護指導者による講義
受講者	14 人
場 所	社会福祉協議会

## 4 ふれあい・いきいきサロンの運営支援

### (1) 相談件数等

	令和2年度	令和元年度
新規立ち上げ相談	91 件	108 件
登録サロン継続支援	370 件	307 件
支援サロン件数	76 サロン	74 サロン
いきいきサロン傷害保険 加入支援	72 サロン 4,706 人	70 サロン 25,948 人



## (2)連絡会・交流会の実施

実施日	行事名	内 容	場 所	参加者
7月31日 10時～12時	ふれあい・いきいき サロン活動者向け 情報交換会 (生活支援体制整備事 業と合同)	「新しい生活様式に合わせた通いの 場の実践について考える」 情報交換会	社会福祉協議会 (WEB併用)	31 人
8月20日 10時30分～ 12時	ふれあい・いきいき サロン活動者向け講座 (生活支援体制整備事 業と合同)	「新しい生活様式に合わせた通いの 場の実践について考える」講座 1 講義 2 質疑応答	社会福祉協議会 (WEB併用)	38 人
1月15日 10時～12時	ふれあい・いきいき サロン活動者向け 情報交換会 (生活支援体制整備事 業と合同)	「新たな日常生活における地域支え あい講座」 1 講義 2 事例紹介 3 情報交換	社会福祉協議会 (WEB併用)	38 人
1月25日 13時30分～ 15時30分	ふれあい・いきいき サロン活動者向け オンライン情報交換会	「社協オンラインサロン」 (子育てサロン活動者向け)①	WEB	13 人
3月16日 10時～12時	ふれあい・いきいき サロン活動者向け オンライン情報交換会	「社協オンラインサロン」 (子育てサロン活動者向け)② 牛込保健センター参加	WEB	12 人

## 5 成年後見センター事業(重点事業)

20 ページに記載

## 6 地域ささえあい活動助成金

### (1) 地域ささえあい活動助成

赤い羽根共同募金と歳末・地域たすけあい運動募金を活用し、地域の活動団体による支えあい・助けあい活動及び高齢者、障害者等の当事者団体による福祉活動等、地域のニーズに基づいた取り組みに対し、令和2年度は受付期間を全4回(2月・5月・8月・11月)設け、申請のあった21事業のうち、21事業、計2,170,000円を助成した。

☆…新規申請団体 新規申請団体数 2 団体 (前年度 3 団体)

主な分野	団体名	助成(申請)内容	決定額	種別番号
子ども・子育て	☆ 1 特定非営利活動法人 ゆったりーの	子育てママ向けワークショップの実施費用	113,000 円	2
	2 新宿こども食堂わかまつ	子ども食堂開催に伴う会場使用料	48,000 円	3
	3 西新宿子ども食堂	子ども食堂開催に伴う会場使用料	92,000 円	3
	4 かしわぎ子ども食堂	子ども食堂開催に伴う会場使用料	56,000 円	3
	5 特定非営利活動法人 キッズ未来プロジェクト	子ども食堂実施に伴う会場使用料	96,000 円	3
	6 新宿こども食堂たんすまち	子ども食堂実施に伴う会場使用料	48,000 円	3
	7 新宿こども食堂ネットワーク	啓発講座の開催及び情報提供のためのホームページ立ち上げ費用	161,000 円	3
高齢者	8 つのはず合唱団	角筈地域の高齢者を中心とした合唱を通じたサロンの実施費用	30,000 円	6
障害	9 新宿区肢体不自由児者父母の会	都外で開催される研修活動の参加費用	118,000 円	1
	10 新宿区視覚障害者福祉協会	生きがい教室の参加費用、マナー教室の実施費用	116,000 円	1
	11 特定非営利活動法人 クレインハウス	地域生活支援プログラム事業(集団音楽療法)の実施費用	200,000 円	1
	12 特定非営利活動法人 新宿ライフケアセンター	障害者と地域の人々が共に参加する運動会の開催及びその準備会の実施費用	200,000 円	1
	13 お絵かきくらぶ あいじえん	クリスマス会の実施費用	23,000 円	1
	14 特定非営利活動法人 言語障害者の社会参加を支援するパートナーの会 和音	「失語症コミュニケーション支援講座」の実施費用	124,000 円	2
	15 新宿区視覚障害者福祉協会	視覚障害者のための情報媒体(CD)の作成と発送	14,000 円	1
地域世代交流・	16 三世代ふれあい祭実行委員会	「三世代ふれあい祭」の実施費用	200,000 円	2
	☆ 17 チームおつまみ	男性の料理教室の実施費用	40,000 円	6
	18 地縁法人 西富久町会	「富久さくらサロン」の運営費用	100,000 円	7
その他	19 更生保護法人 斉修会	刑余者と協力者によるサマーコンサート及びクリスマス会の実施費用	86,000 円	1
	20 更生保護法人 斉修会	刑余者のための生け花教室の実施費用	105,000 円	1
	21 特定非営利活動法人 新宿区レクリエーション協会	「新宿区レクリエーションフォーラム2020」の実施費用	200,000 円	2

合 計	令和2年度	申請事業	21 事業	交付決定金額 2,170,000 円 (内、返還額) 742,000 円(8件)
		交付事業	21 事業	
	令和元年度	申請事業	39 事業	交付決定金額 4,100,000 円 (内、返還額) 291,000 円(9件)
		交付事業	38 事業	

助成金の種別一覧(参考)

種別 番号	助 成 種 別	交付 決定数
1	団体による当事者活動を支援する事業	8
2	団体による地域福祉の視点が盛り込まれた事業(町会を除く)	5
3	主に子どもを対象とした食事支援及び学習支援事業	5
4	団体の周年行事等、経常経費では対応できない活動 (地域福祉につながるもの) (町会を除く)	0
5	地域福祉活動団体の立ち上げ	0
6	ふれあい・いきいきサロン等の継続活動支援	2
7	町会・自治会による支えあい・助けあい活性化の視点が盛り込まれた事業	1

(2) ふれあい・いきいきサロン 新型コロナウイルス感染症対応のための活動助成 《令和2年度新規》

赤い羽根共同募金と寄附金を原資として、区内の高齢者、障害者、子育て世代、ご近所同士などの集いの場であるふれあい・いきいきサロンの活動をするにあたり、新型コロナウイルス感染症の対応に関する経費(参加者への電話連絡による様子伺いやオンライン講座などの通信費、自宅のできる活動提供のための材料費、衛生用品費など)を支援するための助成事業を実施した。

令和2年度は、受付期間を2回(11月・1月)設け、23サロンへ325,000円を助成した。

主な 分野	サ ロ ン 名		決 定 額		サ ロ ン 名		決 定 額	
子 ど も ・ 子 育 て	1	ミマモカフェ	5,000 円		4	Hugmom	15,000 円	
	2	子育てサロン・リバーサイド 中井	15,000 円		5	四谷ツイズ	15,000 円	
	3	0っこひろば	15,000 円		6	多世代交流ラボ にこりハハ	15,000 円	
高 齢 者	7	須賀町ふれあいサロン	15,000 円		11	特定非営利活動法人 テラ・ガーデン新宿	15,000 円	
	8	高齢者の暮らしを考える会 あなたの手おしゃべり会	15,000 円		12	スイトピー	15,000 円	
	9	つのはず合唱団	15,000 円		13	神楽坂 坂上サロン	15,000 円	
	10	えんがわ落合	15,000 円					
障 害	14	よりみちサロン	15,000 円					
多 世 代 ・ 地 域 交 流	15	神田川ふれあいサロン	15,000 円		20	一二三の会	15,000 円	
	16	きまぐれカフェ「フラット」	15,000 円		21	SHINJUKU BASE	15,000 円	
	17	ぬくもりサロン	15,000 円		22	みんなのリビング葛が谷	15,000 円	
	18	器阿うんの会	10,000 円		23	LSSC研究会	10,000 円	
	19	サロン・ド・カフェ こもれば	15,000 円					
合 計					申請事業	23 件	交付決定金額 325,000 円	
					交付事業	23 件		

## (3) 備品整備・施設整備助成

株式会社日本財託(新宿区西新宿)から寄附5,000,000円を受け、平成22年から区内福祉施設等の備品整備・施設整備のために助成している(事務費50,000円を除く)。選考委員会による選考の結果、申請24事業のうち、23事業に計4,916,000円を助成した。

☆…新規申請団体 新規申請団体数 4 団体 (前年度 2 団体)

No.	団 体 名	助 成 内 容	決 定 額
☆ 1	特定非営利活動法人 若年認知症サポートセンター	パソコンの購入	183,000 円
2	更生保護法人 斉修会	魔法瓶、洗濯機、移動式エアコン、プリンター、 電動ドリルの購入	200,000 円
3	特定非営利活動法人 10代・20代の妊娠SOS新宿 -キッズ&ファミリー	エアコン、プロジェクターの購入	184,000 円
4	三世代ふれあい祭実行委員会	折畳テーブル、折畳アルミテーブル、タープテン ト、虫よけサイドシートの購入	0 円
5	若年性認知症家族会・ 彩星の会	空気清浄機の購入	53,000 円
6	特定非営利活動法人 工房『風』	パソコンの購入	153,000 円
7	社会福祉法人二葉保育園 二葉乳児院 地域子育て支援センター二葉	翻訳機、タブレット端末、傘立て、コートハンガー ラック、温風・涼風機の購入	174,000 円
☆ 8	特定非営利活動法人 いっと	平均台セット複合バランス遊具の購入	110,000 円
9	社会福祉法人新宿あした会 新宿第二あした作業所	卓上型真空ガス脱気シーラーの購入	195,000 円
10	社会福祉法人 日本キリスト教奉仕団 新宿区立新宿福祉作業所	スタッキングチェア(肘付き、肘なし)、飛沫防止 用卓上アクリルパネルの購入	200,000 円
☆ 11	特定非営利活動法人 ゆったりーの	授乳ソファの購入	165,000 円
12	社会福祉法人 結の会 オフィスクローバー	事業利用者等の個人情報等を管理保存する ためのネットワークストレージ(外部記憶装置) の購入	194,000 円
13	社会福祉法人 日本視覚障害者団体連合	AEDの購入	200,000 円
14	社会福祉法人 かがやき会 地域活動支援センター まど	パソコンの購入	200,000 円
15	社会福祉法人東京ヘレン・ケ ラー協会ヘレン・ケラー学院	スリッパ殺菌ディスペンサーおよびスリッパの購 入	200,000 円
16	地縁法人 西富久町会 (富久さくらサロン)	サーキュレーション扇風機の購入	63,000 円
17	NPO法人 こつこつ	パーティーション、非接触式電子温度計の購入	116,000 円
☆ 18	戸山ハイツアパート35号棟 自治会	机、折り畳み椅子、タイルカーペットの購入	199,000 円
19	社会福祉法人 サン	デイサービス「より処まんまる庵」の壁紙交換	484,000 円
20	特定非営利活動法人 クレインハウス	非常用はしごの交換による施設整備	353,000 円
21	特定非営利活動法人 シニア演劇ネットワーク	更衣室用間仕切りカーテンの整備	97,000 円
22	社会福祉法人 慈愛会	食材庫壁の改修工事	688,000 円
23	特定非営利活動法人 新宿ライフケアセンター	空気浄化機能付きエアコンの整備	360,000 円
24	社会福祉法人 東京ムツミ会	トイレ内改修工事	145,000 円

また、令和2年度は、社協職員が講師となる出前講座や、地域住民同士の会議や打ち合わせ等で使用するタブレット端末の購入費用に活用した。

合 計	令和2年度	申請事業 24 事業	(交付額) 4,916,000 円
		交付事業 23 事業	(内、返還額) 57,000 円)
		タブレット端末の 購入及び事務費	141,000 円
	令和元年度	交付事業 21 事業	(交付額) 3,562,000 円 (内、返還額) 10,000 円)
		地域貸出用輪転機等の 購入及び事務費	1,448,000 円

### 3. 多様な生活課題を受け止める相談体制の充実と包括的な支援

#### 1. 暮らしの総合相談事業(重点事業)

##### (1) 暮らしの総合相談

①小地域活動支援(ボランティア・市民活動センター・東分室・ボランティアコーナーの運営)

(ア) 新規相談件数

拠 点	令和2年度	令和元年度
ボランティア・市民活動センター (高田馬場事務所)	延 914 件	延 1,081 件
ボランティア・市民活動センター (東分室)	延 239 件	延 339 件
新宿社協ボランティアコーナー	延 193 件	延 384 件
箕苜町ボランティアコーナー	延 24 件	延 71 件
若松町ボランティアコーナー	延 23 件	延 50 件
大久保ボランティアコーナー	延 32 件	延 21 件
落合第一ボランティアコーナー	延 21 件	延 64 件
落合第二ボランティアコーナー	延 65 件	延 97 件
柏木ボランティアコーナー	延 28 件	延 81 件
合 計	延 1,346 件	延 1,804 件

※ 新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言発出により、東分室は4月20日～6月13日、各ボランティアコーナーは4月13日～6月20日または27日の間、窓口を休止した。

(イ) ボランティアコーナー受付・問合せ件数

拠 点	内 容					
	総合相談				情報交換	
	ボランティア相談		一般相談			
	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
箕苜町ボランティアコーナー	30 件	83 件	13 件	29 件	903 件	784 件
若松町ボランティアコーナー	32 件	102 件	24 件	57 件	733 件	1,513 件
大久保ボランティアコーナー	43 件	95 件	18 件	33 件	809 件	1,115 件
落合第一ボランティアコーナー	27 件	112 件	19 件	55 件	1,144 件	1,279 件
落合第二ボランティアコーナー	58 件	76 件	58 件	62 件	1,119 件	1,624 件
柏木ボランティアコーナー	32 件	114 件	18 件	14 件	718 件	1,083 件
合 計	222 件	582 件	150 件	250 件	5,426 件	7,398 件

※ ボランティア相談はボランティア活動希望及び利用希望の総数

※ 新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言発出により、各ボランティアコーナーは4月13日～6月20日または27日の間、窓口を休止した。

(ウ) ボランティア保険の加入手続き件数

	令和2年度	令和元年度
ボランティア保険加入者	4,948 人	8,322 人
(うち天災プラン加入者)	( 257 人)	( 1,138 人)
行事保険加入者	41 件	158 件
行事保険(当日参加対応型)加入者	17 件	60 件

※行事保険(当日参加対応型)は、平成29年12月より開始

## (エ) 使用済み切手の収集・整理

	令和2年度	令和元年度	送付先	用途
収集・整理数 (換金相当額)	46 kg (約 82,800 円)	69.2 kg (約 124,560 円)	公益社団法人 日本キリスト教海外 医療協力会	発展途上国における出生時 に必要な医薬器具・薬品購 入経費等

## (オ) 食事用エプロン(一組2枚)の無料配布

本会が寄附を受けたタオル(新品)を活用し、ボランティアが作製したエプロンを各拠点で配布した。

配布先	令和2年度	令和元年度
個人	0 組	9 組
施設・団体	82 組	59 組

## (2) 車椅子・地域行事用機材の貸出

## ①保有台数

種 別	令和2年度	令和元年度
自走型(小型2・大型3含む)	110 台	110 台
介助型	93 台	100 台
子供用	6 台	6 台
合 計	209 台	216 台

## ②寄附を受けた車椅子と無償譲渡した車椅子

	令和2年度	令和元年度
寄 附	31 台	36 台
譲 渡	18 台	18 台

※ 貸出期間5年を経過した車椅子について、  
点検のうえ町会・自治会、福祉施設等に  
無償譲渡している。

## ③貸出拠点と貸出実績

## (ア) 社会福祉協議会延べ取扱件数・・・短期貸出(2週間程度)及び長期貸出(4か月)

貸 出 拠 点	新 規		更 新	
	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
ボランティア・市民活動センター(高田馬場事務所)	131 件	142 件	24 件	17 件
ボランティア・市民活動センター(東分室)	45 件	58 件	7 件	3 件
箕筒町ボランティアコーナー	18 件	18 件	1 件	5 件
若松町ボランティアコーナー	25 件	38 件	3 件	7 件
大久保ボランティアコーナー	44 件	60 件	9 件	11 件
落合第一ボランティアコーナー	26 件	29 件	13 件	10 件
落合第二ボランティアコーナー	30 件	33 件	2 件	3 件
柏木ボランティアコーナー	17 件	32 件	1 件	7 件
合 計	336 件	410 件	60 件	63 件

※ 新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言発出により、各ボランティアコーナーが窓口を休止している  
間(4月13日～6月20日または27日の間)は各特別出張所にて車椅子の貸出を行った。

## (イ) 特別出張所延べ取扱台数・・・短期貸出(2週間程度)のみ

特別出張所名	令和2年度	令和元年度	特別出張所名	令和2年度	令和元年度
四谷特別出張所	43 台	44 台	戸塚特別出張所	6 台	3 台
箕筒町特別出張所	24 台	26 台	落合第一特別出張所	64 台	31 台
榎町特別出張所	34 台	32 台	落合第二特別出張所	27 台	26 台
若松町特別出張所	45 台	57 台	柏木特別出張所	33 台	41 台
大久保特別出張所	62 台	67 台	角筈特別出張所	34 台	20 台
			合 計	372 台	347 台

## ④地域行事用機材の貸出

機 材 名	貸出件数		機 材 名	貸出件数	
	令和2年度	令和元年度		令和2年度	令和元年度
綿菓子機	3 件	16 件	テント(中)	0 件	6 件
ポップコーン機	0 件	5 件	鉄板焼機	0 件	9 件
臼と杵(セット)	1 件	8 件	輪投げセット	1 件	8 件
発電機	2 件	2 件	ゲーゴルゲーム	1 件	1 件
テント(大)	0 件	5 件	合 計	8 件	60 件

⑤福祉教育・体験学習用機材の保有台数・貸出数

(ア)高齢者疑似体験セットの貸出内訳

学校・団体等	高齢者疑似体験セット(大人) 【保有10セット】				高齢者疑似体験セット(キッズ) 【保有10セット】			
	令和2年度		令和元年度		令和2年度		令和元年度	
	貸出件数	貸出数	貸出件数	貸出数	貸出件数	貸出数	貸出件数	貸出数
小学校	1件	1セット	0件	0セット	2件	20セット	1件	10セット
中学校	0件	0セット	0件	0セット	0件	0セット	0件	0セット
高校	0件	0セット	0件	0セット	0件	0セット	0件	0セット
大学	0件	0セット	1件	5セット	0件	0セット	0件	0セット
専門学校	2件	15セット	4件	30セット	0件	0セット	0件	0セット
企業	6件	21セット	3件	8セット	0件	0セット	1件	2セット
団体	4件	7セット	5件	22セット	0件	0セット	2件	9セット
合計	13件	44セット	13件	65セット	2件	20セット	4件	21セット

(イ)体験用車椅子の貸出内訳

学校・団体等	体験用車椅子(自走式) 【保有台数30台】				スポーツ競技用車椅子 【保有台数13台】			
	令和2年度		令和元年度		令和2年度		令和元年度	
	貸出件数	貸出台数	貸出件数	貸出台数	貸出件数	貸出台数	貸出件数	貸出台数
小学校	2件	15台	9件	94台	0件	0台	1件	1台
中学校	0件	0台	0件	0台	0件	0台	0件	0台
高校	0件	0台	2件	2台	0件	0台	0件	0台
大学	0件	0台	6件	19台	0件	0台	0件	0台
専門学校	2件	20台	4件	19台	0件	0台	0件	0台
企業	0件	0台	1件	3台	0件	0台	2件	17台
団体	5件	6台	12件	51台	1件	12台	6件	24台
合計	9件	41台	34件	188台	1件	12台	9件	42台

2 自立相談支援・貸付事業(重点事業)

社会的孤立、経済的困難、単身高齢世帯の増加、8050問題などを背景とした、今までの支援のしくみでは解決が難しい複合的な課題も受け止め、区や関係機関、各事業間の調整を図り、総合的な相談支援を行う。令和2年3月25日から開始した、新型コロナウイルス感染症に係る生活福祉資金特例貸付の相談対応を引き続き行った。

(1)総合相談件数

①新規相談件数

令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
13,087件	1,009件	658件	744件

(ア)男女別内訳

	男性	女性	不明	合計
令和2年度	9,003人	3,978人	106人	13,087人

(イ)年代別内訳

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
令和2年度	13人	1,444人	3,886人	3,531人	2,348人	950人	424人	49人	442人	13,087人

②継続相談件数 ※借入世帯、各事業登録者への対応

継続相談件数内訳	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
継続相談件数(延べ数)	2,905件	4,946件	2,913件	1,893件

(ア)継続相談件数 内容内訳

	教育支援資金	福祉資金(福祉費)	緊急小口資金	総合支援資金	不動産担保型生活福祉資金	受験生チャレンジ支援資金	応急小口資金	自立相談支援	VC事業等	合計
令和2年度	603件	81件	30件	152件	59件	878件	110件	150件	842件	2,905件

③事業利用決定件数

	教育支援資金	福祉資金 (福祉費)	緊急小口 資金	総合支援 資金	不動産担 保型生活 福祉資金 (要保護世 帯向け含)	受験生 チャレンジ 支援資金	応急小口 資金	自立相談 支援	合 計
令和 2年度	7 件	0 件	0 件	1 件	0 件	122 件	12 件	65 件	207 件
令和 元年度	17 件	1 件	0 件	1 件	2 件	109 件	26 件	9 件	165 件

(2) 自立相談支援事業〔区委託事業〕

	令和2年度	令和元年度
新規相談件数	100 件	127 件
利用申込件数	65 件	9 件
プランによる支援申込件数	0 件	6 件
支援調整会議開催回数	1 回	18 回
支援調整会議における取扱いケース数	4 件	29 件

(3) 生活福祉資金貸付事業〔東社協委託事業〕

①生活福祉資金貸付事業

種 類	令和2年度		令和元年度	
	決定件数	金 額	決定件数	金 額
教育支援資金 ( )は人数	7 (7) 件	9,865,500 円	17(10) 件	11,673,000 円
福祉資金・福祉費	0 (0) 件	0 円	1(1) 件	2,484,000 円
福祉資金・緊急小口資金	0 件	0 円	0 件	0 円
臨時特例つなぎ資金	0 件	0 円	0 件	0 円
総合支援資金 ( )は人数	1(1) 件	111,000 円	1(1) 件	180,000 円
うち住宅入居費	件	円	0 件	0 円
うち一時生活再建費	件	円	0 件	0 円
うち生活支援費	1 件	111,000 円	1 件	180,000 円
不動産担保型生活資金	0 件	0 円	0 件	0 円
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	0 件	0 円	2 件	15,300,000 円
生活復興支援資金	件	円	0 件	0 円
合 計 ( )は人数	8 (8) 件	9,976,500 円	21(14) 件	29,637,000 円

(ア)不動産担保型生活資金内訳

令和2年度貸付状況		令和元年度貸付状況	
累計貸付者数	2 人	累計貸付者数	2 人
累計貸付決定額	42,070,000 円	累計貸付決定額	42,070,000 円

(イ)要保護世帯向け不動産担保型生活資金内訳

令和2年度貸付状況		令和元年度貸付状況	
累計貸付者数	4 人	累計貸付者数	4 人
(貸付限度額到達者 1 人含む)		(貸付限度額到達者 1 人含む)	
累計貸付決定額	29,450,000 円	累計貸付決定額	29,450,000 円

②債権件数(東社協発行償還状況一覧表に基づく管理債権件数)

	令和2年度	令和元年度
教育支援資金・福祉資金(福祉費・緊急小口資金)	437 件	450 件
総合支援資金	8,708 件 ※	508 件
生活復興支援資金	2 件	2 件
不動産担保型生活資金	2 件	2 件
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	3 件	4 件
離職者支援資金(平成21年10月25日終了)	67 件	69 件
合 計	9,219 件	1,035 件

※特例貸付実績含む



③生活福祉資金償還率

	令和2年度		令和元年度	
	当年度	過年度	当年度	過年度
教育支援資金・福祉資金(福祉費・緊急小口資金)	64.00 %	14.89 %	67.39 %	20.71 %
総合支援資金	32.30 %	4.39 %	22.27 %	2.73 %
生活復興支援資金	0.00 %	0.00 %	0.00 %	0.00 %
合 計	53.44 %	7.22 %	49.65 %	6.37 %

(4)受験生チャレンジ支援貸付事業[区委託事業]

種 類	令和2年度		令和元年度	
	決定件数	金 額	決定件数	金 額
中3学習塾	28 件	5,455,100 円	33 件	5,785,400 円
中3受験料	26 件	640,300 円	29 件	830,700 円
高3学習塾	31 件	5,671,900 円	22 件	3,712,100 円
高3受験料	37 件	2,504,000 円	25 件	1,848,000 円
合 計 ( )は人数	122 件 ( 64 人)	14,271,300 円	109 件 ( 63 人)	12,176,200 円

(5)ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業[東社協委託事業]

	令和2年度	令和元年度
相談者数	1 人	1 人
決定件数(人数)	1 件( 1 人)	0 件( 0 人)
貸付不可者数	0 人	0 人

※東京都及び都内区市が実施する母子及び父子並びに寡婦福祉法による母子・父子家庭高等職業訓練促進給付金の支給者が対象となる事業。

(6)応急小口資金貸付事業

		令和2年度	令和元年度
当年度	貸付決定件数	12 件	26 件
	貸付決定金額	845,000 円	1,815,700 円
	償還件数	164 件	237 件
	償還調定額	1,658,220 円	3,012,299 円
	償還金額	1,337,540 円	1,920,602 円
	未償還額	320,680 円	1,091,697 円
	償還率	80.66 %	63.76 %
過年度	償還件数	12 件	35 件
	償還調定額	2,795,920 円	1,793,700 円
	償還金額	83,400 円	212,783 円
	償還率	2.98 %	11.86 %
	延滞利子収入	0 円	5,000 円
債 権 件 数		56 件	81 件

(7)緊急援護事業

	令和2年度	令和元年度
支給・貸付件数	2,303 件	1,588 件
支給・貸付金額	5,640,782 円	3,613,821 円

(8)新型コロナウイルス感染症に係る生活福祉資金特例貸付

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等により、一時的又は継続的に収入減少した世帯に向けた、緊急小口資金・総合支援資金(生活支援費)の特例貸付を行った。

貸付事務について、5月11日から7月末日まで、区職員1名の応援派遣を受けて対応した。また、受付期間延長や制度の運用変更に伴う事務及び相談件数増に対応するため、新規に職員を採用し体制強化を図った。

【令和2年度】

問合せ 対応件数	相談来所	申請件数					総計
		緊急小口 資金	総合支援 資金	小計	総合支援 (延長)	総合支援 (再貸付)	
12,790 件	17,250 件	10,318 件	7,977 件	18,295 件	3,853 件	3,479 件	25,627 件

### 3 成年後見センター事業（重点事業）

#### (1) 成年後見制度利用推進事業〔区委託事業〕

##### ① 成年後見・権利擁護相談窓口の設置

##### (ア) 体制

一般相談	月～金曜日の午前8時30分～午後5時
専門相談	毎週月・水・金曜日の午後1時～4時 月曜日 司法書士(公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート東京支部) 水曜日 弁護士(東京弁護士会) 金曜日 社会福祉士 (公益社団法人東京社会福祉士会権利擁護センター「ばあとなあ東京」) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、4月20日～6月12日まで中止した。
訪問専門相談	司法書士、社会福祉士及び弁護士による訪問相談
推進機関支援弁護士	東京弁護士会弁護士による法的支援

##### (イ) 実績

##### ・新規相談者数

令和2年度	182 人
令和元年度	269 人

##### ・相談者数(問合せ・相談延べ人数)

	相談者数	相談者数					
		一般相談	専門相談	司法書士	弁護士	社会福祉士	訪問 (司・社・弁)
令和2年度	1,520 人	1,398 人	122 人	33 人	56 人	32 人	1 人
令和元年度	2,315 人	2,161 人	154 人	37 人	62 人	51 人	4 人

※一般相談(職員による相談)の合計:問合せ・相談累計件数を含む。

##### ・相談内容

内 容	件 数		内 容	件 数	
	令和2年度	令和元年度		令和2年度	令和元年度
法定後見	1,024 件	1,414 件	金銭管理	607 件	651 件
任意後見	181 件	203 件	財産保護	29 件	55 件
法定後見(法人)	34 件	34 件	生活	983 件	982 件
任意後見(法人)	99 件	169 件	虐待	10 件	4 件
相続	53 件	61 件	苦情	10 件	12 件
遺言	38 件	66 件	その他	341 件	447 件
			合 計	3,409 件	4,098 件

※相談内容は複数カウント

##### ・相談対応結果

対応・結果	件 数		対応・結果	件 数	
	令和2年度	令和元年度		令和2年度	令和元年度
制度説明	167 件	210 件	機関支援専門家	3 件	0 件
書類配付	51 件	90 件	金銭管理	110 件	91 件
申立書作成支援	38 件	49 件	財産保護	5 件	5 件
第三者紹介	21 件	16 件	生活支援	214 件	250 件
法人後見	2 件	6 件	助言	280 件	403 件
家裁同行	0 件	3 件	情報提供	1,518 件	1,760 件
申立・報酬助成案内	3 件	3 件	苦情対応・解決	0 件	1 件
専門相談員	251 件	335 件	その他	370 件	644 件
			合 計	3,033 件	3,866 件

※相談対応は複数カウント

②広報・普及宣伝

(ア) 広報活動(制度・相談窓口・成年後見センター・講演会等案内)

・広報しんじゆく	4 回掲載	
・新宿社協だより「けやき」	2 回掲載	
・パンフレット「成年後見制度とは」	適宜配布	
・チラシ「成年後見制度のご案内」	適宜配布	
・成年後見センターだより	第 16 号	3,600 部発行
	第 17 号	3,600 部発行
・チラシ「成年後見センター 専門相談のご案内」	適宜配布	

(イ) 普及活動

・講演会・出前講座等の実施	6 回	111 人参加
・その他普及啓発活動(町会、民児協等)	延 13 回	

※6月、8月に予定していた講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

③後見人等養成・活動支援

(ア) 新宿区登録後見活動メンバー(社会貢献型後見人)支援・養成

	令和2年度	令和元年度
登録者数	74 人	68 人
連絡会・研修会開催	6 回	7 回
成年後見人等受任	14 件 (補助 0 保佐 4 後見 10)	13 件 (補助 1 保佐 3 後見 9)
後見監督等受任	14 件	13 件
成年後見人等 年度受任数	H22 3件、H23 1件、H24 3件、H25 5件、H27 3件、H28 5件 H29 3件、H30 2件、R1 4件、R2 5件 (受任14件、終了20件)	
後見監督業務	18 件 373 回	17 件 401 回

(後見監督業務は終了した4件も含む)

(イ) 後見人等支援

	令和2年度	令和元年度
相 談	随時対応	随時対応
親族後見人交流会	後見人交流会と統合	後見人交流会と統合
後見人交流会(Café)	2 回 11 人 ※	2 回 28 人
個別支援	延 80 人 720 回 (後見監督18件、監督業務実施回数含む)	延 79 人 931 回 (後見監督17件、監督業務実施回数含む)

※7月に予定していた後見人交流会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止した。

(ウ) 市民後見人養成基礎講習

受講者	令和2年度				令和元年度			
	説明会 参加者	講習 申込者	受講 決定者	選考合格 登録者	説明会 参加者	講習 申込者	受講 決定者	選考合格 登録者
全体	25 人	15 人	13 人	10 人	25 人	12 人	12 人	7 人
男性		5 人	4 人	3 人		7 人	7 人	3 人
女性		10 人	9 人	7 人		5 人	5 人	4 人

※養成基礎講習説明会(新宿区実施)

・養成基礎講習

講習期間	令和2年10月27日～12月4日
講習時間	6日間、24時間

・登録後見活動メンバー登録選考

選考日	令和2年12月18日
選考内容	筆記及び個人面接
選考合格者	10人(男性3人、女性7人)

④地域の社会資源との連携・協力による支援活動(専門家・福祉関係者等の関係強化・連携)

	令和2年度	令和元年度
連絡会議等(民生児童委員協議会ほか)	1 回	6 回
意見交換等(弁護士会等専門職団体ほか)	6 回	19 回
事業協力(セミナー講師派遣、講座開催支援、視察受入等)	0 回	8 回

⑤成年後見推進機関の運営

運営委員会の開催	令和2年度	令和元年度
	3 回 ※	2 回

運営委員・・・ 弁護士、司法書士、社会福祉士、医師、民生委員、社協理事、高齢者総合相談センター職員、学識経験者、福祉団体職員、行政職員 計11人

※ 6月に予定していた運営委員会を新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため延期し、9月に書面開催した。

専門委員会の開催	令和2年度		令和元年度	
	0 回	令和2年度は未設置	0 回	令和元年度は未設置

⑥行政等との連携

(ア)新宿区との連携、福祉部との打合せ会等 4 回

(イ)東京都、東社協との連携、利用者支援区市町村連絡会会議等 5 回

(2)法人後見事業〔区補助事業〕(平成30年4月開始)

① 相談支援

(ア)新規相談者数

令和2年度	14 人
令和元年度	23 人

(イ)相談者数(問合せ・相談延べ人数)

	相談者数	一般相談	専門相談	専門相談				訪問 (司・社・弁)
				司法書士	弁護士	社会福祉士		
令和2年度	452 人	449 人	3 人	2 人	0 人	1 人	0 人	
令和元年度	672 人	662 人	10 人	2 人	5 人	3 人	0 人	

②受任状況

(ア)法人後見受任検討委員会の開催

委員会の開催	令和2年度	令和元年度
	4 回	5 回

受任検討委員・・・弁護士、司法書士、社会福祉士、行政職員 計5人

(イ)受任概況

	法定後見		任意後見	
	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
後見人等候補者承諾状況	2 件	3 件	2 件	4 件
後見人等受任状況	5 件 (後見 4 件) (保佐 1 件)	7 件 (後見 5 件) (保佐 2 件)	8 件	7 件
終了件数	2 件	0 件	1 件	0 件
後見等監督人受任状況	14 件	13 件	(後見監督人受任状況は再掲)	

## (ウ)活動状況

	法定後見		任意後見	
	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
後見人等活動状況	1,590 件	1,976 件	406 件	358 件
後見等監督人活動状況	18 件	17 件	/	

(後見監督人活動状況は、終了した4件も含む)(再掲)

## ③ 広報・普及宣伝

## (ア) 広報活動(事業等案内)

・広報しんじゆく	2 回掲載
・新宿社協だより「けやき」	1 回掲載
・ぬくもりだより	0 回掲載
・パンフレット「成年後見制度とは」	適宜配布
・チラシ「新宿区社会福祉協議会が法人として成年後見人等になります」	適宜配布

## (イ) 普及活動

・講演会・出前講座等の実施	0 回	0 人参加
・その他普及啓発活動(町会、民児協等)	延 0 回	

(ウ) 任意後見事業説明会の開催 2 回 31 人参加

## (3) 地域福祉権利擁護事業〔東社協委託事業〕

## ① 事業実績

(件)

内 容	認 知 症	知的障害	精神障害	その他 ※1	合 計	
					令和2年度	令和元年度
問合せ件数 (制度・事業等)	14	3	3	35	55	43
初回相談件数	124	7	15	6	152	173
新規契約件数 ( )は生活保護受給者数	24 ( 10 )	3 ( 2 )	2 ( 2 )	2 ( 1 )	31 ( 15 )	28 ( 18 )
解約件数 ( )は生活保護受給者数	18 ( 8 )	4 ( 2 )	6 ( 3 )	4 ( 3 )	32 ( 16 )	31 ( 21 )
年度末の契約件数 ( )は生活保護受給者数	72 ( 41 )	10 ( 6 )	20 ( 15 )	6 ( 3 )	108 ( 65 )	109 ( 66 )
うち通帳・ 印鑑預かり	24 ( 18 )	5 ( 2 )	9 ( 7 )	3 ( 2 )	41 ( 29 )	45 ( 31 )
うち書類等 預かり	1 ( 0 )	1 ( 0 )	1 ( 0 )	0 ( 0 )	3 ( 0 )	2 ( 0 )
延契約件数 ( )は生活保護受給者数	90 ( 49 )	14 ( 8 )	26 ( 18 )	10 ( 6 )	140 ( 81 )	140 ( 87 )
専門員延相談援助件数 ( )は訪 問や会 議等の 回数	5,447 ( 1,759 )	645 ( 96 )	1,080 ( 214 )	217 ( 70 )	7,389 ( 2,139 )	9,011 ( 2,722 )
契約者	2,232 ( 767 )	386 ( 43 )	957 ( 184 )	150 ( 56 )	3,725 ( 1,050 )	5,001 ( 1,460 )
契約外(契約前・ 解約後等)	3,215 ( 992 )	259 ( 53 )	123 ( 30 )	67 ( 14 )	3,664 ( 1,089 )	4,010 ( 1,262 )
生活支援員 ※2 延援助件数(契約者)	639	128	226	84	1,077	1,289

※1 高次脳機能障害、病気等

※2 生活支援員数 70名

②解約理由 (件)

死亡	施設入所・長期入院	判断能力低下	本人自立	他地区へ転居	その他
8	14	4	1	1	4

③成年後見制度の申立支援・連携及び活用実績

対象者	令和2年度	令和元年度
地域福祉権利擁護事業契約者	4 件	1 件
上記以外の相談者	29 件	30 件

・契約者外預かり

申立前、地域福祉権利擁護事業(地権)契約前の保全等

	保管件数	延べ件数	内 訳	
令和2年度	17 件	29 件	申立前 23 件	地権契約前 6 件
令和元年度	22 件	24 件	申立前 18 件	地権契約前 6 件

④その他

- ・地域福祉権利擁護事業 事業説明会の開催 0 回
- ・生活支援員連絡会の開催(1回目は1年目のみ対象、2回目は3回に分けて実施) 4 回
- ・東社協等が主催する外部の専門員、生活支援員研修会に参加 5 回 ※WEBによる研修

## 4 避難者支援

(1)さんさん広場の運営支援

開催日時	場 所	内 容	開催状況	
			令和2年度	令和元年度
原則 毎月第2 土曜日 午後1時 ～4時	都営百人 町四丁目 アパート 14号棟 集会室	学生ボランティアによるネットワーク「joy study project(※)」が主体となって、主に子どもの学習と遊びの支援、家族交流の場「さんさん広場」を平成24年2月から周辺住民や支援団体と協力して開催している。 避難者及び既存住民の交流スペースとしているほか、地域情報の提供も行っている。 社協職員も避難者の状況や住民のニーズ把握等を行うため参加している。 (平成28年4月から学生団体と自治会の自主運営でサロンを数回開催している)	地域の自主活動へ移行となったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未開催	開催日数 延 2 日 参加者数 延 58 人 (1日平均 29 人 ) ※学生ボランティア 9 人

※ joy study project…

大学生のボランティアネットワークによる、区内に居住する東北からの避難者のサポートを目的とした支援活動である。

百人町周辺の既存住民との関係づくりをはじめ、地域の活性化に活動の重点を置き、地元住民や町会、支援団体や企業と連携した活動を展開している。

(2)情報紙「交流サロン通信」の発行及び配布

目 的	避難者向け情報紙を発行し、区所管課とともに戸別訪問配布により転居先などに関する情報、避難者に必要な情報などを届ける
内 容	・情報紙発行回数 : 12 回 ・配布戸数 : 延 113 戸

## 4 住民同士の支えあいによる心豊かな暮らしの実現

ボランティア・市民活動コーディネート事業

	令和2年度	令和元年度
活動登録者数*	1,870 人	1,864 人
活動団体数	166 団体	162 団体
新規ボランティア活動希望者数 (内訳①②)	83 人	329 人

\* ちょこっと・暮らしのサポート事業協力員、地域見守り協力員、施設でのボランティア活動者

①男女別内訳

	男性	女性	不明	合計
令和2年度	32 人	51 人	0 人	83 人
令和元年度	101 人	227 人	1 人	329 人

②年代別内訳

	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
令和2年度	0 人	1 人	11 人	10 人	16 人	18 人	9 人	18 人	0 人	83 人
令和元年度	0 人	127 人	59 人	21 人	27 人	33 人	24 人	38 人	0 人	329 人

## 1 ちょこっと・暮らしのサポート事業

(1) 登録者数

	令和2年度	令和元年度
利用者	1,226 人	1,151 人
協力者	510 人	484 人
協力団体	11 団体	8 団体
延べ活動回数	延 1,411 回	延 3,208 回
新規マッチング数	294 回	367 回

主な活動内容	(主として継続活動)				(1回のみ) 軽作業等
	掃除	買い物	食事づくり	外出付添い	
令和2年度	有償活動数 474 件	無償活動数 68 件	有償活動数 217 件	無償活動数 56 件	161 件
令和元年度	有償活動数 1082 件	無償活動数 85 件	有償活動数 536 件	無償活動数 55 件	326 件

(2) 普及啓発講座の実施

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、来所型での講座は実施せず、YouTubeを活用して講座動画を配信した。

配信日	内容	話題提供者	閲覧数
6月3日	「オレの地域デビュー」 きっかけ編	森岡 照良氏 定年退職後、ボランティア活動を始めるまでの体験談	512 回
7月15日	「オレの地域デビュー」 活動編	森岡氏、石原氏、五十嵐氏、田中氏 活動中の男性ボランティアが具体的な活動の様子を紹介	298 回
9月11日	「オレの地域デビュー」 これから編	森岡氏、石原氏、石井氏 コロナ禍で新たに活動したボランティアの事例	188 回

(3) ボランティア交流会の開催

目的	定年退職前後の方、地域活動に関心がある方、令和2年度講座に申し込みされた方を対象とし、新たな活動者や活動につなげることを目的として実施した。		
実施日	場 所	内 容	参加者数
3月22日 13時30分～ 15時30分	社会福祉協議会 (WEB併用)	活躍の場が待っている！！ 地域で見つける充実セカンドライフ 講師 シニアライフアドバイザー 松本すみ子氏	来所:9名 WEB参加:29名 後日視聴:67名

## 2 地域見守り協力員事業（区委託事業）

### (1) 実施状況

地域見守り 協力員事業	令和2年度	令和元年度
利用者数	577人	593人
協力員数	383人	374人
延べ訪問回数	延 14,528回	延 15,007回

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、4月中旬～6月中旬まで協力員による訪問活動を休止し、職員が電話で安否確認を行った。令和2年度延べ訪問回数は、協力員による訪問活動(11,421回)と職員による電話対応(3,107回)を合わせた回数となっている。

### (2) 新規登録者数

	令和2年度	令和元年度
利用者	79人	80人
活動者	43人	55人

### (3) 地域見守り協力員・各地区連絡会・全体会の開催

各地区地域見守り協力員連絡会

地区	実施日	場所	内 容	参加者数	
東	9月9日	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務連絡</li> <li>・意見交換アンケート(新しい見守り活動方法や地域のつながりについて)</li> </ul>	29人	
				四谷	33人
				笹筒町	32人
中央				若松町	37人
				大久保	35人
				戸塚	61人
西				落合第一	36人
				落合第二	37人
				柏木・角筈	50人

### (4) 関係機関・協力機関との連携

連携機関名	実施日	内 容
区高齢者支援課、各高齢者総合相談センター、見守り登録事業者、ぬくもりだより訪問配布員、民生委員、町会・自治会	11月20日	新しい生活様式に合わせた見守り活動について意見交換

## 3 ファミリーサポート事業（区委託事業）

### (1) 会員数

	通常預かり		うち病児・病後児預かり	
	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
利用会員	3,259人	3,647人	1,603人	1,762人
提供会員	360人	368人	233人	219人
両方会員	8人	9人	3人	3人
合計	3,627人	4,024人	1,839人	1,984人

### (2) 相談・問合せ件数

依頼者及び依頼内容等		件 数	
		令和2年度	令和元年度
利用会員	新規依頼(病児・病後児預かり依頼除く)	214件	589件
	病児・病後児預かりコーディネート	23件	76件
	その他	347件	79件
提供会員		246件	98件
未登録者(新規登録について・他団体からの問合せ等)		777件	1,045件
合計		1,607件	1,887件



## (3)活動実績

活 動 の 範 囲	活動件数(件)		活動時間数(時間:h)	
	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
1 保育園・幼稚園の送り	1,986	3,092	2,214.0	3,645.0
2 保育園・幼稚園の迎え	1,291	2,483	1,433.0	2,933.5
3 保育園・幼稚園の登園前の預かり及び送り	237	458	409.5	810.0
4 保育園・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	1,430	3,279	3,057.0	7,305.5
5 保育園・幼稚園の帰宅後の預かり	269	282	606.0	625.5
6 放課後の預かり	434	829	1,015.0	1,934.0
7 学校から学童クラブへの送り	11	27	24.0	32.5
8 学校の迎え及び帰宅後の預かり	33	83	89.5	224.0
9 学童クラブの迎え	57	135	97.5	151.5
10 学童クラブの迎え及び帰宅後の預かり	172	561	381.0	1,129.5
11 学童クラブの帰宅後の預かり	55	15	141.5	38.0
12 学校の送り	369	454	387.5	653.5
13 学校の迎え	17	66	28.5	134.5
14 子どもの病気時の援助	7	17	25.0	76.5
15 保育園・学校等休み時の援助	1,376	1,131	5,084.0	3,837.0
16 保育園等施設入所前の援助	0	0	0.0	0.0
17 子どもの習い事・塾等の送迎	1,580	5,088	2,584.5	7,693.0
18 保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	540	336	1,897.0	1,365.0
19 保護者等の求職活動中の援助	0	2	0.0	6.5
20 冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	35	523	73.0	1,387.5
21 保護者等の買物等外出の場合の援助	679	1,070	1,979.5	3,218.0
22 保護者等の病気時の援助	15	0	48.0	0.0
23 その他	71	143	111.5	253.0
合 計	10,664	20,074	21,686.5	37,453.5

## (4)利用会員登録説明会の開催

登 録	定期	窓口	訪問	子ども 家庭支 援セン ター	地域子育 て支援セ ンターふ たば	四谷保 健セン ター	土曜日	ゆった り～の	合 計	
新 規	令和2年度	181 人	31 人	3 人	18 人	7 人	- 人	106 人	4 人	350 人
	令和元年度	422 人	51 人	3 人	47 人	- 人	9 人	176 人	12 人	720 人
病児・ 病後児	令和2年度	88 人	8 人	0 人	13 人	3 人	- 人	57 人	4 人	173 人
	令和元年度	185 人	6 人	0 人	25 人	- 人	4 人	99 人	3 人	322 人

※ 地域子育て支援センターふたばと四谷保健センターでの開催は、隔年で実施する。

## (5)提供会員講習会の開催

	申込者数		参加者数		修了者数	
	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
合 計	33 人	54 人	31 人	35 人	22 人	19 人

(参加者数・修了者数は補講者を含む)

## (6)会員向け情報紙「えがお」の発行(年2回)

第58・59号 (6月22日発行) (12月21日発行)	発行部数	5,000 部 (令和2年度発行部数:5,000部)
	仕 様	A4判 4頁
	発行部数	利用会員、提供会員、福祉関係機関等

## 5 さまざまな団体との連携による地域ネットワークの発展

### 1 地域団体との連携（重点事業）

#### (1) 社会福祉法人としての公益的な取り組みの推進

##### 新宿区内社会福祉法人連絡会の開催

改正社会福祉法に基づき、「地域における公益的な取組を実施する責務」などに関し、区内社会福祉法人によるネットワークづくりをすすめ、法人間の連携と協働による公益的な取組をすすめることを目的としている。

令和2年度は、会員44法人等で連絡会を組織し、新型コロナ拡大による様々な制限の中、オンライン会議ツールやメーリングリストの活用、新型コロナに関するアンケート調査の実施や各種地域公益活動関連会議への出席等、会員間の情報交換・共有を図るとともに、CSR活動企業との連携・協働へ向けた関係づくりをすすめた。

幹事会	実施日	方法	内 容	参加者数	
	9月3日	WEB		会員の中から、社協を含め7団体で組織する幹事会で、連絡会の具体的な運営に関し協議を行った。	6 団体
11月9日	6 団体		6 人		
3月22日	7 団体		7 人		
連絡会	9月18日	書面 開催	・令和元年度連絡会決算 ・令和2年度事業計画及び収支予算	37 団体	
	2月18日	WEB	・地域公益活動及び新型コロナ関連情報共有 ・グループごとの情報交換 テーマ： ①コロナ禍における各法人等の課題、地域ニーズ ②区内における地域公益活動、連絡会の役割・活動	17 団体	17 人

その他、メーリングリストを活用し、団体間の交流と情報交換を随時行なった。

#### (2) 民生委員・児童委員協議会との連携

##### ①各地区民生委員・児童委員協議会との懇談会の開催

設立当初から深いかわりを持ち、今日まで新宿区の地域福祉の向上に携わってきた民生委員・児童委員との相互理解を一層深め、さらなる連携・協働をすすめていくため、希望があった各地区民生委員・児童委員協議会と懇談会を開催している。

地 区	実施日	場 所	内 容
落合第二	11月27日	落合第二 地域センター	社会福祉協議会について
四谷	(1月18日)※	四谷 地域センター	特例貸付について
榎町	(1月20日)※	榎町 地域センター	災害時のボランティア活動について
笹笥町	(2月15日)※	牛込笹笥 地域センター	社会福祉協議会について
戸塚	(2月18日)※	戸塚 地域センター	社会福祉協議会について
柏木	(2月24日)※	柏木 地域センター	社会福祉協議会について
若松町	(3月16日)※	落合第二 地域センター	見守り・支えあいの地域づくりについて
角筈	(3月22日)※	角筈 地域センター	生活福祉資金・特例貸付について
落合第一	3月25日	落合第一 地域センター	社会福祉協議会について及び 民生委員と社協との具体的な連携について

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止

##### ②公私立保育園児への絵本の贈呈事業の支援

民生委員・児童委員協議会が行う公私立保育園・子ども園への絵本の贈呈事業に協力を行っている。

	令和2年度		令和元年度	
保育園・子ども園	81 園	380,902 円	73 園	344,474 円

(3)町会・自治会等地域団体との連携

各地区町会連合会への社協事業説明等の実施

開催月	説明内容
4月	
5月	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
6月	
7月	① 新宿社協ニュースレター配布(内容 令和2年4～7月社協活動報告)
	② 町連での事業説明 令和2年度 年度計画
	③ 令和2年度共同募金運動の実施について
	④ 新宿区ファミリー・サポート・センター「提供会員募集チラシ」の町会掲示板掲示協力のお願について
9月	① 令和2年度赤い羽根共同募金運動実施に伴うご協力のお願について
10月	① ちょこっと・暮らしのサポート事業のご案内と社協会費のご協力のお願
11月	① 令和2年度歳末・地域たすけあい運動募金への協力依頼と資材送付について
	② 出前講座の実施について
	③ 総合相談・貸付事業について
12月	① 成年後見制度について(成年後見センターだより配布)
2月	① 地域見守り協力員事業について
3月	① 赤い羽根/歳末・地域たすけあい運動募金のお礼と報告について
	② 令和3年度地域ささえあい活動助成金について

※4月～6月は、各町会・自治会に「特例貸付のご案内」や「新宿社協ニュースレター」等を送付し、事業や地域情報の提供を行った。

※8月、1月は非開催

※2月は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、一部の地区のみ実施

(4)出前講座の実施

	団体名	開催日	会場	内容	参加者数
1	学校法人東京学園 東京国際福祉専門学校	10月29日	東京国際福祉専門学校	ボランティア・地域活動について (認知症サポーター養成講座含む)	20 人
2	大久保地区青少年育 成委員会	12月9日	大久保ボランティアコー ナー	オンライン会議の導入支援	4 人
3	新宿区手をつなぐ親の 会 すけっ人らいん	(2月4日)※	新宿区障害者福祉 センター	地域福祉権利擁護事業について	— 人
4	北新宿第二地域交流館	2月18日	北新宿第二地域交流館	新しい生活様式での居場所づくりについて	8 人
5	戸山シニア活動館	3月29日	戸山シニア活動館	成年後見制度について (任意後見制度も含む)	9 人

※3は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止

※上記以外に、各地区民生委員・児童委員協議会との懇談会を出前講座として実施

(5)NPO・新宿CSRネットワーク等との市民活動の支援

①NPO等市民活動団体との協働支援

※京王プラザホテルボランティア・プラザは、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止

②新宿CSRネットワークの活動支援

	令和2年度	令和元年度
加盟企業	17 社	19 社
定例会	開催	3回 ※四半期に1度の開催だが、4月は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止
	内容	定例会をWEB開催。 社会貢献活動に関する情報交換および各企画の検討
支援事業	新宿養護学校との協働イベント ・企業向けのオンライン学校見学 ・生徒を対象としたオンライン社会科見学(富士ゼロックス東京)の実施 ※例年参加の清掃活動(5月、12月)、8月の京王プラザホテル ボランティア・プラザの参加 協力、同日開催の打ち水大作戦は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止。	

③福祉団体・施設等が行う行事等への支援

	令和2年度	令和元年度
行事等の後援・協力	12 件	28 件
行事等の共催	0 件	2 件
民間助成団体への推薦	9 件	8 件

2 生活支援体制整備事業（区委託事業）

7 ページに記載

6 新宿社協の活動の理解促進のための広報・広聴機能の強化

1 総合的な広報事業（重点事業）

(1)ボランティア情報の発信

①地区情報紙の発行

平成31年4月から、ボランティア・市民活動情報紙「しずく」と各地区の地域情報を発信する「地区情報紙」を統合し、新たな「地区情報紙」として発行を開始した。また、ボランティア募集情報は、ホームページに掲載し、ボランティアに関する様々な情報を発信する。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の活動自粛による影響を踏まえ、令和2年6月以降は掲載内容を変更し、事業や今後の取り組み、自宅のできるボランティア活動や講座(オンライン)等を紹介している。

発行月	掲載内容	発行部数	
4月	笹笥・角筈地区の取り組み	各回2,500部	
5月	榎町・戸塚地区の取り組み		
6月	【事業紹介】		
7月			いつでも体験ボランティア
8月			視覚・聴覚障害者交流コーナー
9月			ちよこっと・暮らしのサポート事業
10月			新宿CSRネットワーク
11月			地域見守り協力員事業
12月			ふれあい・いきいきサロン事業
1月			総合相談窓口・新宿区生活支援体制整備事業
2月			介護支援等ボランティア・ポイント事業
3月			ファミリーサポート事業／令和2年度の取り組み①
			令和2年度の取り組み②／ボランティア保険の案内等

配布先	ボランティア活動登録者、施設・団体、NPO、企業及び各種関係機関
掲載先	社協ホームページ、SNS ※

※ SNSはFacebookページを運用(H29年11月より開始)

②ホームページへの掲載

内 容	令和2年度	令和元年度
地区情報・事業周知等の記事掲載	124 回	112 回

(2) 広報「けやき」等の発行

① 広報紙「けやき」の発行(年4回)

第172号 (5月20日発行)	発行部数	101,000 部
	仕 様	タブロイド判 4頁
	配布方法	新聞折込み(朝日・読売・毎日・日経・産経・東京) 96,000 部 関係機関等窓口での配布ほか 5,000 部
	主な内容	(特集)ファミリーサポート事業、食を通じた地域活動「子ども食堂」、会費 会員募集、出前講座、特例貸付、令和2年度事業計画・事業予算、その 他お知らせ
第173号 (8月20日発行)	発行部数	101,000 部
	仕 様	タブロイド判 4頁
	配布方法	新聞折込み(朝日・読売・毎日・日経・産経・東京) 96,000 部 関係機関等窓口での配布ほか 5,000 部
	主な内容	(特集)市民後見人、食を通じた地域活動「ふれあい・いきいきサロン」、 地域の支えあいエピソード集、令和元年度事業報告・事業予算、その他 お知らせ
第174号 (11月20日発行)	発行部数	101,000 部
	仕 様	タブロイド判 4頁
	配布方法	新聞折込み(朝日・読売・毎日・日経・産経・東京) 90,000 部 関係機関等窓口での配布ほか 11,000 部
	主な内容	(特集)ちよこっと・暮らしのサポート事業、食を通じた地域活動「高齢者食 事サービス」、地域活動者実践講座「子育てで自分の魅力を再発見」、受 験生チャレンジ支援貸付事業、その他お知らせ
第175号 (2月20日発行)	発行部数	95,000 部
	仕 様	タブロイド判 4頁
	配布方法	新聞折込み(朝日・読売・毎日・日経・産経・東京) 90,000 部 関係機関等窓口での配布ほか 5,000 部
	主な内容	(特集)ふれあい・いきいきサロン、食を通じた地域活動「子ども食堂」、新 宿区内社会福祉法人連絡会、後見人等交流会、共同募金報告、車椅子 の無償譲渡、その他お知らせ

② 事業案内パンフレット「新宿社協ガイド」の発行

発行部数	10,000 部
仕 様	A4判 12 頁
配布方法	民生・児童委員協議会、町会・自治会、関係機関・団体など

(3) ホームページ、SNSの活用

		令和2年度	令和元年度
新着情報等 内容の更新	ホームページ	240 回	182 回
	SNS ※	179 回	129 回
ホームページビュー数		376,821 回	158,973 回

※SNSはFacebookページを運用(H29年11月より開始)

## 2 広聴事業(重点事業)

(1) 情報公開・個人情報保護審査会

① 情報公開・個人情報保護連絡会の開催

第1回 令和2年10月29日

議題 ・委員長・副委員長の選任

- ・情報公開・個人情報保護制度と審査会の役割について
- ・保有個人情報の開示等の請求・協議会文書の公開請求事案について
- ・個人情報取扱業務概要説明書のホームページ公開について
- ・情報公開・個人情報保護関係規程等の改正について
- ・新宿区消費生活地域協議会協定による個人情報の取扱いについて

(2) 第三者委員会

① 第三者委員会による会議の開催

第1回 令和2年10月29日

議題 ・新宿区社会福祉協議会の苦情解決体制と第三者委員の役割

・事例の紹介

・苦情対応の手順書について

(3) 広聴事務手順書の作成

個人情報保護、情報公開及び苦情解決体制について、職員の対応手順をまとめた手順書を作成した。

## 7 地域福祉推進のための財源基盤の拡充

### 1 会費会員の拡充(重点事業)

	令和2年度		令和元年度	
	件数	金額	件数	金額
個人会員	1,642 件	2,600,000 円	1,947 件	2,857,100 円
団体会員	424 件	2,181,000 円	471 件	2,358,000 円
合計	2,066 件	4,781,000 円	2,418 件	5,215,100 円

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い、民生委員・児童委員による会費集金は、従来の会員宅訪問の他、郵送による納付依頼を実施した。また、各地区民生委員・児童委員協議会の中止に伴い、例年6月に行っていた民生委員・児童委員への集金依頼は9月に行った。

### 2 共同募金の普及・啓発(募金文化の醸成)(重点事業)

(1) 共同募金会新宿地区協力会理事会

第1回理事会 令和2年8月11日 書面決議

議決事項 議案第1号 共同募金会新宿地区協力会会長・副会長について

議案第2号 令和2年度共同募金会新宿地区協力会共同募金(赤い羽根共同募金及び歳末・地域たすけあい募金)実施要綱の決定について

議案第3号 令和2年度共同募金会新宿地区協力会共同募金(歳末・地域たすけあい運動募金)援護費予算の執行について

第2回理事会 令和3年1月29日 出席者数 理事 13人 監事 2人

議決事項 議案第4号 令和2年度東京都共同募金会 赤い羽根共同募金 地域配分(B配分)の推せんについて

議案第5号 令和2年度地域福祉活動事業の再配分について

議案第6号 令和3年度赤い羽根共同募金運動及び歳末・地域たすけあい運動募金の予算について

議案第7号 令和3年度地域福祉活動事業の配分計画について

議案第8号 共同募金会新宿地区協力会規程の一部改正について

協議事項 令和3年度共同募金(歳末・地域たすけあい運動募金)援護費の方向性について

(2) 赤い羽根共同募金

募金は、福祉施設の改修や設備整備のほか、在宅の高齢者、障害者の支援など地域福祉の推進に役立てられる。募金額の約65%が地域ささえあい活動助成金として地域に配分され、他は都内の福祉施設や被災地支援に活用される。また、今年度は地域の居場所の感染予防のための助成事業としても活用した。

・募金期間 令和2年10月1日～12月31日

・募金方法 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、町会・自治会を通じての募金依頼の際に振込対応を行うなどしたほか、募金箱を新宿区福祉部地域福祉課ほか各部署窓口、各特別出張所窓口、社会福祉協議会等に設置した。なお、街頭募金はすべて中止とした。

・募金総額

令和2年度	令和元年度
3,114,670 円	3,390,226 円

・街頭募金

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、実施なし

(3) 歳末・地域たすけあい運動募金

募金は、歳末・新年を迎える区内の在宅重度障害児者、女性保護施設入所者や乳児院児童などに見舞金品として贈呈したほか、翌年度、地域ささえあい活動助成金などの社会福祉協議会の事業を通じて住民主体の地域福祉活動の支援に活用する。また、援護費については、地域のニーズに沿った活用方法について検討を行う。

- ・募金期間 令和2年12月1日～12月31日
- ・募金方法 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、町会・自治会を通じての募金依頼の際に振込対応を行うなどしたほか、募金箱を新宿区福祉部地域福祉課窓口、各特別出張所窓口、社会福祉協議会等に設置した。  
なお、街頭募金は1町会に自主的に実施いただいた。

・募金総額及び内訳

	収支項目	金 額		
		令和2年度	令和元年度	
収入	募金額	7,856,398 円	9,155,369 円	
	預金利子	0 円	0 円	
	前年度繰越金	10 円	12 円	
	収入合計	7,856,408 円	9,155,381 円	
支出	援護費	3,567,714 円	3,562,557 円	
	見舞金	交通遺児	0 円	0 円
		自死遺児	0 円	0 円
		在宅重度障害児者	3,250,000 円	3,190,000 円
		女性保護施設入所者	120,000 円	200,000 円
		見舞品	197,714 円	172,557 円
	乳児院児童	197,714 円	172,557 円	
	事務費	487,044 円	549,378 円	
	地域福祉活動費	3,801,650 円	5,043,446 円	
	支出合計	7,856,408 円	9,155,381 円	

・街頭募金

	実施日	場 所	参 加 者	募金額
下落合東町会による街頭募金	12月19～23日 各日2回	ピーコックストア 目白店前歩道	町会役員 延30人	113,423 円

・その他募金

	実施日	場 所	参 加 者	募金額
四谷教会による募金	12月8日	新宿区役所	四谷教会僧侶	302,754 円

※例年実施している托鉢募金は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

### 3 寄附の募集(重点事業)

(1) 寄附金

	令和2年度		令和元年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額
一般寄附金	303 件	3,682,816 円	365 件	5,652,844 円
指定寄附金	13 件	6,094,000 円	2 件	3,802,000 円
施設整備等寄附金	1 件	91,000 円	1 件	1,200,000 円
合 計	317 件	9,867,816 円	368 件	10,654,844 円

※「頑張れ！デイサービス！福祉施設応援プロジェクト」の実施

5月に、新宿ロータリークラブからの寄附と区内清掃業者の協力により、新型コロナウイルス感染症拡大が収まらない中、区内の高齢者・障害者の在宅生活を支える福祉施設の清掃・除菌などを行う事業を実施し、60か所の福祉施設の利用があった。

※ 指定寄附金である株式会社日本財託からの寄附金500万円のうち、91,000円は、施設整備等寄附金として、社協職員が講師となる出前講座や、地域住民同士の会議や打ち合わせ等で使用するタブレット端末の購入費として活用。

## (2) 寄附物品の受領・譲渡

	令和2年度	令和元年度
物品受領件数	128 件	103 件
地域団体・施設等への譲渡件数	196 件	77 件

※ 主におむつ類・タオルなど未使用の物品を受領・譲渡している。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、市販マスク・手作りマスク・アルコール消毒液等、多数の寄付を受けた。また、新宿区内5つのロータリークラブより感染症対策テント1基等の寄付を受けた。

## 4 収益事業(自販機の設置等)(重点事業)

平成25年度より自主財源の増収を図っていくために、自動販売機型募金箱による収益事業を開始した。特定非営利活動法人ハートフル福祉募金の設置した自動販売機の売り上げの一部が手数料として本会の収入となる。

・設置場所 社会福祉協議会3台(高田馬場事務所1台、東分室2台)、新宿中央公園 1台、正覚寺(四谷地区) 1台、新宿清掃事務所 1台、ソナーレ目白御留山 1台※

※令和2年10月新規設置

・手数料収入額

令和2年度	令和元年度
439,104 円 / 7 台	511,728 円 / 6 台

## 8 新宿社協の組織運営と組織基盤の整備

### 1 新宿社協の組織運営

(1)理事会・評議員会・推進部会の運営

#### ①役員会

(ア)会長・副会長会

計2回(11月18日、2月24日)の開催

理事会・評議員会開催前に実施し、予定議案について協議を行った。

※5月に開催を予定していた第1回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い非開催

(イ)監事監査

第1回 令和2年5月11日

令和元年度に係る事業報告等、計算関係書類及び財産目録についての監査

第2回 令和2年11月10日・11日

令和2年度上半期事業報告及び各事業及び各拠点区分資金収支決算、貸借対照表等についての監査

(ウ)理事会

第1回 令和2年6月1日

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い書面同意となり、理事の全員18名の同意書及び監事の全員3名の確認書により、理事会の決議があったものとみなされた。

議決事項 議案第1号 令和元年度地域福祉推進事業資金収支補正予算(補正第3号)  
議案第2号 令和元年度事業報告及び決算報告の承認について  
議案第3号 令和2年度地域福祉推進事業資金収支補正予算(補正第1号)  
議案第4号 令和2年度第1回評議員会の決議省略について

第2回 令和2年12月9日 出席者数 理事 17人(来所7人 WEB参加10人)  
監事 3人(来所1人 WEB参加2人)

議決事項 議案第5号 令和2年度地域福祉推進事業資金収支補正予算(補正第2号)  
議案第6号 社会福祉法人新宿区社会福祉協議会定款の変更について  
議案第7号 社会福祉法人新宿区社会福祉協議会個人情報保護規程の一部改正について

議案第8号 社会福祉法人新宿区社会福祉協議会個人情報保護規程施行規則の一部改正について

議案第9号 社会福祉法人新宿区社会福祉協議会情報公開規程の一部改正について  
議案第10号 社会福祉法人新宿区社会福祉協議会情報公開規程施行規則の一部改正について



	議案第11号	社会福祉法人新宿区社会福祉協議会苦情解決に関する規程の一部改正について
	議案第12号	社会福祉法人新宿区社会福祉協議会組織規程の一部改正について
	議案第13号	社会福祉法人新宿区社会福祉協議会事案決定規則の一部改正について
	議案第14号	令和2年度第2回評議員会の招集について
第3回	令和3年3月10日	出席者数 理事 14人(来所8人 WEB参加6人) 監事 2人(来所1人 WEB参加1人)
議決事項	議案第15号	令和2年度地域福祉推進事業資金収支補正予算(補正第3号)
	議案第16号	社会福祉法人新宿区社会福祉協議会役員その他の役職者の報酬に関する規程の制定及び社会福祉法人新宿区社会福祉協議会役員その他の役職者の費用弁償に関する規程の廃止について
	議案第17号	社会福祉法人新宿区社会福祉協議会評議員選任委員会運営規程の一部改正について
	議案第18号	社会福祉法人新宿区社会福祉協議会部会規程の一部改正について
	議案第19号	社会福祉法人新宿区社会福祉協議会情報公開・個人情報保護審査会設置規程の一部改正について
	議案第20号	社会福祉法人新宿区社会福祉協議会非常勤職員規程の一部改正について
	議案第21号	社会福祉法人新宿区社会福祉協議会経理規程の一部改正について
	議案第22号	評議員選任委員の選任について
	議案第23号	「第4次経営計画2019年度～2023年度 中間の見直しのまとめ」の承認について
	議案第24号	令和3年度事業計画及び資金収支予算について
	議案第25号	令和2年度第3回評議員会の招集について

## ②評議員会

第1回 令和2年6月18日

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い書面同意となり、評議員の全員21名の同意書により、評議員会の決議があったものとみなされた。

議決事項	議案第1号	令和元年度地域福祉推進事業資金収支補正予算(補正第3号)
	議案第2号	令和元年度事業報告及び決算報告の承認について
	議案第3号	令和2年度地域福祉推進事業資金収支補正予算(補正第1号)

第2回 令和2年12月21日

出席者数 評議員 16人(来所7人 WEB参加9人)  
常務理事 1人(来所1人)  
監事 1人(来所1人)

議決事項	議案第4号	令和2年度地域福祉推進事業資金収支補正予算(補正第2号)
	議案第5号	社会福祉法人新宿区社会福祉協議会定款の変更について

第3回 令和3年3月19日

出席者数 評議員 19人(来所9人 WEB参加10人)  
常務理事 1人(来所1人)

議決事項	議案第6号	社会福祉法人新宿区社会福祉協議会役員その他の役職者の報酬に関する規程の制定及び社会福祉法人新宿区社会福祉協議会役員その他の役職者の費用弁償に関する規程の廃止について
	議案第7号	理事及び監事の報酬の総額について
	議案第8号	令和2年度地域福祉推進事業資金収支補正予算(補正第3号)
	議案第9号	令和3年度事業計画及び資金収支予算について

## ③評議員選任委員会

令和2年度は開催されなかった。

④推進部会の運営

各地区社協部会代表者9人、専門分野や広域活動者、企業、行政、学識者等9人の計18人の委員により構成されている。

第1回 令和2年 10月 9日 出席者数 11人※

内容・委員自己紹介

・第4次経営計画と推進部会の役割について

・部会長、副部会長の選出について

・第4次経営計画 中間の見直しについて

※出席者数が委員数の3分の1に満たなかったため、後日、当日欠席した委員全員から書面議決書を受取り、会議成立となった。

第4次経営計画 中間の見直しの方向性について委員への確認 12月実施

新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた会議回数が開催出来なかったため、第1回推進部会での意見を反映し、内部でまとめた中間の見直しの方向性について、委員から意見聴取を書面にて行った。

第2回 令和3年 2月 17日 出席者数 15人 《WEB開催》

内容・第4次経営計画 中間の見直し案の承認について

・SDGsのゴールから見た社会福祉協議会の今後の可能性や方向性について

(2)社協部会の運営

民生・児童委員協議会、町会・自治会関係者、高齢者総合相談センター、学校関係者(スクールコーディネーター)、地域活動者、地域福祉関係NPO、施設・団体等等から選出の委員84名で、特別出張所地区ごと9地区で社協部会を運営した。(各地区委員は9人、柏木・角筈地区は合同のため委員12人)

令和2・3年度の検討テーマは「支援の隙間に埋もれるニーズに気づき、つなげる地域になるには」で、各地区の社協部会で検討をすすめている。

※第2回～第4回は、WEB・来所併用で実施した。

【第1回】

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、書面での開催とした。

「周囲の人や地域が気づき支援につながった事例」について、書面にて回答いただいた。

【第2回】

地区	実施日			参加者数
東地区	四谷 9月 4日	笹筈町 8月 18日	榎町 9月 1日	25人
中央地区	若松町 8月 27日	大久保 8月 20日	戸塚 9月 3日	24人
西地区	落合第一 9月 1日	落合第二 8月 25日	柏木・角筈 8月 18日	29人

【第3回】

全地区対象の講座を実施した。(実施日 11月30日)

地区	内容	参加者数
東地区	地域共生社会の実現、地域包括ケアシステムの構築に関連する体制整備、住民の役割、専門職の役割について。 【講師】淑徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科 准教授 山下興一郎氏	22人
中央地区		27人
西地区		26人

【第4回】

地区	実施日	会場		参加者数
東地区	四谷 2月 12日	笹筈町 2月 26日	榎町 2月 16日	22人
中央地区	若松町 2月 10日	大久保 2月 9日	戸塚 3月 2日	22人
西地区	落合第一 2月 26日	落合第二 2月 25日	柏木・角筈 2月 8日	26人

## 2 職員の育成

(1) 職員等の資質向上に向けての研修の実施

(回数、人数は延数)

### ①職層別研修

	令和2年度		令和元年度	
	参加者数	人	参加者数	人
中堅職員研修(職歴2年以上)	1 回	10 人	3 回	6 人
新任職員研修	2 回	4 人	3 回	3 人
係長昇任時研修	0 回	0 人	0 回	0 人
主任昇任時研修	0 回	0 人	0 回	0 人
その他(役職員研究協議会ほか)	1 回	5 人	1 回	4 人

### ②専門・業務研修

	令和2年度		令和元年度	
	参加者数	人	参加者数	人
地域活動支援	17 回	26 人	15 回	18 人
成年後見・地域福祉権利擁護	13 回	18 人	12 回	18 人
自立相談支援・貸付	0 回	0 人	12 回	14 人
ファミリーサポート	3 回	5 人	4 回	5 人
法人経営	4 回	6 人	12 回	14 人
その他(救命、認知症サポーター養成等)	4 回	19 人	7 回	28 人

### ③内部研修

	令和2年度		令和元年度	
	参加者数	人	参加者数	人
新任研修	3 回	14 人	3 回	15 人
集合研修	5 回	188 人	16 回	293 人
地域活動支援課研修	0 回	0 人	3 回	13 人
成年後見センター研修	1 回	9 人	1 回	11 人

※上記の内部研修のほか、昇任選考対象者の研修を随時実施している。

### ④資格取得支援

	令和2年度		令和元年度	
	受験者数	資格取得者数	受験者数	資格取得者数
衛生管理者	1 人	1 人	1 人	1 人
ITパスポート	3 人	3 人	3 人	3 人

(2) 社会福祉実習 2 人 24 日間 (12日間2名)

## 3 IT推進・情報管理

(1) IT運用・管理及び情報セキュリティ

①組織内IT推進体制を整備し、適正な管理運用を行った。

- ・IT推進会議(各課IT担当)によるシステム・インフラ等の運用・管理・利用サポート・各種調整等
- ・ITコンサルタント及びインフラ委託業者の助言による、情報セキュリティ対策
- ・遠隔地でのデータバックアップの実施(月1回)
- ・管理及び情報セキュリティの運用等強化(ITパスポート有資格者:11人)
- ・情報セキュリティ強化のため、上位バージョンのウイルス対策ソフトへの切り替え
- ・事務用パソコンの機能増強のため、ストレージの交換及びメモリの増設

②ITコンサルタントの支援により、安全な運用及びIT人材の育成を行った。

- ・コンサルタント委託先:株式会社ループス・ネット
- ・指導(来所1回、WEB6回)、IT担当者の管理運用及びその他相談への助言・情報提供(随時)
- ・職員のITリテラシー及びセキュリティ意識向上への支援(新任研修:4回/IT担当:1回/eラーニング:2回)
- ・機器やシステムの管理・運用・導入、情報セキュリティ強化等への助言

③災害等への対応・検討を行った。

- ・遠隔地でのデータバックアップの実施(毎月1回)
- ・ITBCPの改訂(防災計画・事業継続計画改定に伴う見直し)

- ④ オンライン会議実施に向けての環境強化  
社内会議の多くがオンライン化することに伴い、IT環境を整えるとともにルール作りを行い、職員に周知した。

(2) IT機器・ネットワークの活用

ITシステム・組織内イントラネット・ネットワークの活用により、情報管理・共有及び事務効率化を図った。

【システム】会員総合情報システム、ファイルサーバ、グループウェア、財務・給与・人事管理 他

【インフラ】クライアントPC72台、財務等PC2台、サーバー 他

【その他】ウィルス対策ソフト、データバックアップソフト 他

#### 4 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、以下の対策を行った。

(1) 事務室及び会議室の感染防止対策

飛沫防止アクリル板、工業用扇風機を設置するとともに、随時窓を開け換気に配慮した。

また来所者、職員共にマスク着用の上で対面し、来所者ごとに、アクリル板、机などの清掃を行った。

会議、講座はWEB活用と共に、会議室等での実施の場合にも備え、感染予防対策についての掲示及びチェックリストでのチェックを行った。

(2) 職員の感染防止対策

出社日の検温及び、出社時の手洗い、執務時間中のマスク着用を行った。

第1回緊急事態宣言時(4月16日から6月30日まで)及び第2回緊急事態宣言時(1月12日から2月7日まで)職員の2割減を目指し週1回程度の交替での在宅勤務・研修を実施し、事務室内の執務人数減を図った。また、向かい合う職員間の机と休憩室のテーブルに飛沫防止パネルを設置した。

(3) 東分室及び各ボランティアコーナーの閉所

以下の期間、東分室及び各ボランティアコーナーを閉所した。

① 東分室 令和2年4月20日～6月13日

② 各ボランティアコーナー 令和2年4月13日～6月20日 (4所)

令和2年4月13日～6月27日 (2所)

## 9 災害対策の推進

### 1 災害時危機管理対策

- (1) 大規模災害時に備え、システムデータの遠隔地バックアップを毎月実施した。

(8・3 IT推進・情報管理(1)③の再掲)

- (2) 訓練の実施及び防災意識の向上

消防訓練として、令和2年7月及び8月に各班長を中心に自衛消防隊活動における職員それぞれの役割の確認を行った。

また、防災計画・BCPの改訂に伴い、令和2年7月に全職員を対象とした参集状況調査を実施した。

令和2年10月、新型コロナウイルス感染症予防のため、参集体制ごとに小グループで、改訂した防災計画・BCPに基づく、それぞれの職員の防災班における役割や新宿社協の防火・防災体制、高田馬場事務所の設備等の確認を訓練として実施した。

- (3) 感染症行動計画の策定

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策への対応を踏まえ、新たに「新宿社協 感染症行動計画」を策定した。

## 2 災害ボランティアセンターの運営支援等

新型コロナウイルスをはじめとした、ウイルス等に関わる災害VC運営の考え方を区担当課と検討し、まとめた。

### (1)「新宿区災害ボランティア養成講座」の実施

開催日時	内 容	講 師	参加者数等
11月28日 10時30分～12時	災害ボランティアのキホンを学ぼう 「災害ボランティア講座」 ～災害が起きた時、私たちにできること～ ①新宿区の危機管理体制と被害想定等について ②災害時のボランティア活動について ③新宿区で災害が起きたときは～新宿区災害ボランティアセンターについて」 ④グループワーク 「災害時に自分ができること」	①柏木特別出張所所長 ②さいたま災害ボランティアネットワーク 日野 泰宏氏 ③社会福祉協議会	30名 うち9名が来所
開催方法	WEB開催 ※WEB環境のない方は先着10名を社会福祉協議会にて受講可能とした		

※令和2年度からは、災害ボランティア登録を前提とした講座実施は行わず、災害時の備えや被災地での活動に活かせる講座として実施

### (2)地域での防災講座等への協力

例年、参加協力をしている区主催のしんじゅく防災フェスタは新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止

### (3)新宿区災害ボランティア登録者 情報交換会の実施

開催日時	内 容
1月27日 18時～20時	※区危機管理課を講師に地域防災に関するスキルアップ講座を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、予定を変更し、災害ボランティア講座の動画配信の視聴とした。

### (4)新宿区災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

目的	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に配慮した(オンラインでの訓練)、新宿区災害ボランティアセンターの運営について理解すること。		
開催日時	内 容	参加団体等	参加者数等
1月21日 17時15分～ 18時15分	①訓練当日までに事前課題としてオリエンテーションと事前登録を体験(YouTube動画の視聴、Googleフォームの登録) ②訓練当日までに事業担当が事前登録を基にマッチングの作業を実施 ③WEBにてグループごとに顔合わせと最終オリエンテーションの実施 ④訓練の振り返り	・新宿区監査事務局 ・新宿区地域振興部 地域コミュニティ課 ・社会福祉協議会	区職員 :5人 社協職員:33人 合計:38人
開催方法	WEB開催		

### (5)新宿区災害ボランティアセンター関係者団体意見交換会の実施

開催日時	内 容	参加団体※
3月18日 13時30分～15時	①新宿区災害ボランティアセンター及び社会福祉協議会の取組み ②専門ボランティア団体からの事例提供 ③専門ボランティア活動について意見交換	・関係団体:2 ・オブザーバー:1 ・新宿区:4 ・社会福祉協議会

※参加団体

- ・関係団体 一般社団法人ピースポート災害支援センター 特定非営利活動法人CSW JAPAN
- ・オブザーバー 東京ボランティア・市民活動センター
- ・新宿区 監査事務局 危機管理課 地域コミュニティ課 地域福祉課

**※ 各年度の実績は、いずれも3月末日現在のものです。**  
**※ 本会では、事業報告の附属明細書を作成しておりません。**